

特別講演 1

「2 型糖尿病のインスリン療法をいま考える」

順天堂大学医学部内科学 教授

河盛 隆造 先生

2 型糖尿病患者が激増している。糖尿病患者を多く診ている先生方はますます多忙となってきた。多くの例が診断されていながら長年放置し、血管障害が進展してしまってから始めて来院する例が後をたたない。一方、発症後まもないと考えても、動脈硬化進展防止のため、的確な治療を継続することがいま求められている。

さらに 2 型糖尿病の発症原因も多彩となってきた。高度な肥満や脂肪肝があり、高インスリン血漿状況でかつ高血糖を呈している例もあれば、内因性インスリン分泌が低く、高血糖となっている例も多い。「2 型糖尿病です」と診断しても一例一例、発症機序、病態生理が異なる多彩な集団を纏めて呼んでいることになる。一例一例で、的確に判断し、治療法の決定が必須となる。臨床の場でその判断を可能にする検査を実践すべきであろう。

全ての医師が外来診療で的確なインスリン療法を実践しなければならない時代となった。今実践すべきインスリン療法を中心にお話したい。